

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年1月7日 (13:30~14:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 古川・榎内・濱田・北之園・東別府  
東・松元・牧原・山下・林田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		9人	1人		10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期支援の重要性について引き続き認識するとともに、サービス導入前に確認すべき事柄に気付いた場合は早めに確認を行い、ご本人、職員の双方が不安なく関わりを始めることができるように努める。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングやサービス担当者会議を通して、情報共有を図っている。ご本人やご家族のニーズや支援に関わること (自宅の地図や訪問支援にて留意すべきこと等) については、紙面によって周知して、意見交換を行っている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		9人		1人	10人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		8人	1人	1人	10人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3人	6人	1人		10人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1人	8人	1人		10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>紙面による情報が実際とは異なる可能性があるため、初期支援の段階から丁寧に利用者様と関わることを心掛けて、色々な角度からの声掛けを行ったり、実際の援助の中で気付いたことを職員間で共有したりできている。</li> <li>理由として、小規模多機能ホームの特色として、生活の様々な場面において利用者様の状態を理解しておくことが、実際に支援を行う上で非常に重要であると認識できているからである。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>実際の利用時に初めて気が付くということが少なくなく、事前情報の把握という点で不足を感じることもある。</li> <li>理由として、サービス導入前の見学や体験の機会は多くないため、じっくりとお話を伺う時間が不足している点が挙げられる。また、職員間の情報交換が不十分な面もあり、理由の一つである。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>必要不可欠な情報を項目としてまとめておき、インテークの段階でその点についての確認を行い、事業所にて周知を図る。</li> <li>ニーズやご家族の実際の考え、声を共有してから実際のサービスに移行するため、月1回の会議のみならず、日中にショートミーティングを開催するなどして、意見交換を行うこととする。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年1月7日 (13:30~14:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 古川・榎内・濱田・北之園・東別府  
東・松元・牧原・山下・林田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	6人		10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアプランをさらに充実させていくことを目標として、各職員がケアプランの作成や振り返りにさらに関与することで多角的で、実際の生活の場面における「～したい」というご本人の思いの実現に寄与できるものとしていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>例として、通いサービスに行くことが億劫になっていた利用者様のお考えを伺い、そこから「魚釣りがしたいんだよ」という希望を汲み取り、地域において開催されたニジマス釣り大会に参加していただくという援助を実践した。ご本人はたいへん喜ばれて、「～したい」という思いの実現が図られたものと考えている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1人	4人	4人	1人	10人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1人	3人	6人		10人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2人	1人	7人		10人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1人	5人	3人	1人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>個別リハビリの時間を設けて利用者様との関わりを大切にし、利用者様に思いを表出していただく機会を作り「～したい」を、実際に「～できた」という形にする支援が実践できている。</li> <li>理由として、利用者様毎に担当職員を配置して、その職員を中心に自己実現の可能性を検討するという体制づくりに努めているからである。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症によって自己を表出することが難しい方に関しては、「～したい」という思いの把握が不十分であるかも知れない。</li> <li>理由として、ご家族の意向に沿う形で通い、宿泊、訪問というサービスの設計を行ったとしても、実際に利用者様ご本人の援助を行う中で、ご本人の思いとの相違を感じることもあり、しかし、例えば配偶者とお二人暮らしの方などについては、必ずしもご本人の思いの実現が最優先とされるとは限らないためである。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>担当職員による毎月のサービス評価の質を高めて、そこからご本人の思いやご家族の状況、意向を精査し、ケアプランや個別援助計画に繋げる。</li> <li>「～したい」という思いについては、必ずしも利用者様が言葉として表現されるわけではなく、過去の生活歴や、あるいは、普段から大切にしているもの等から導き出されることを職員が理解し、支援にあたることとする。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年1月7日 (13:30~14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 古川・榎内・濱田・北之園・東別府  
東・松元・牧原・山下・林田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人		10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の生活歴について目を向けてその大切さを認識し、ご本人を形作ってきたこれまでの人生を理解し、そして現在のご本人の思いをより深く知ることによって充実した支援に繋げる。</li> <li>情報を職員間で確実に共有し、的確な支援を実践する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職員がそれぞれの個性を生かしながら、かつ、共有すべき情報や支援の方向性はきちんと共有し、ご本人の日常生活を包括的に支えるという体制が整いつつある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3人	6人	1人	10人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1人	8人	1人		10人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	4人	5人		10人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3人	7人			10人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1人	8人	1人		10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>体調面、感情面について常にアンテナを張り、利用者様の表情や言動からの気づきを共有している。</li> <li>ADLについては、利用者様自身で“できること”を見きわめて、過剰な援助になることがないように心掛けている。</li> <li>理由として、利用者様とともに過ごす時間が蓄積されていく中で信頼関係が培われ、小さな変化にも気付くことができるようになったからである。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>意見交換の場においては、「～ではないだろうか」という推測にて討議を進めることがあり、その思いを時にはうまく擦り合わせるができず、職員によって異なる考えで援助にあたってしまうことのリスクについて完全には払拭できていない。</li> <li>その理由として、職員によって利用者様が早急に解決すべき課題が何であるかをとらえる目線が異なるためである。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>各職員がサービス担当者会議に参加する機会を作り、利用者様の思いに触れ、利用者様を形作ってきた様々な出来事を知り、職員が同じ思いで支援にあたるように実行する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年1月7日 (13:30~14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 古川・榎内・濱田・北之園・東別府  
東・松元・牧原・山下・林田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	6人	3人		10人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・オレンジカフェについては継続して開催し、利用者の方たちが地域の中でその存在を尊重されるよう、支援する。</li><li>・地域の皆さんとの意見交換を大切にして、実際の援助や、あるいは新たな支援の方向性や展開に繋げる。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・オレンジカフェは概ね毎月開催した。開催を控えた理由は、荒天によって地域の方の送迎の安全が保たれないと判断されたため。</li><li>・オレンジカフェや地域行事にて、利用者様が地域の方から尊重され、気に掛けてもらえるということについて実践できている。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3人	7人		10人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		8人	2人		10人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6人	4人		10人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1人	2人	5人	2人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ご家族の事情にて、数十年ぶりに生まれ故郷である地域に帰って来られたという方がいらっしゃったが、その方について民生委員の方を筆頭に「支えてあげてね、お願いね」という言葉を頂戴して、地域の方たちと事業所がそれぞれに援助するのではなく、地域の方たちと事業所が一体的になってその方を支えるということについて実践できた。</li><li>・理由として、日頃から地域行事への参加や地域の方を事業所に招く機会を設けていることで、地域の方たちとの関係性が強固なものであるからと考える。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域行事に参加する職員の偏りについて、完全には解消できていない。</li><li>・理由として、地域行事の開催日時に応じた勤務割の作成が困難であり、また、地域の方たちとの関係作りの意識について職員間で統一できていない点も理由の一つである。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業所に気軽に足を運んでもらえる環境作りを行う。その中で、職員皆と地域の方たちが交流できる機会を設ける。</li><li>・具体的には、見学の機会を作ったり、事業所を会場とする催し物を開催するなど。現行のオレンジカフェについては、その参加して下さる方の拡大のための工夫を行うこととする。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年1月7日 (13:30~14:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 古川・榎内・濱田・北之園・東別府  
東・松元・牧原・山下・林田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人		1人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の症状がある利用者様においては、ご家族や地域住民への働き掛けによって生活の質を向上させることができると考える。小規模多機能ホームが地域で果たすことができる役割の可能性を検討し、認知症サポーター養成講座の開催等、地域に対する働き掛けを実行する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度においては、地域の学校の生徒を対象として認知症サポーター養成講座を開催し、地域における認知症の方に対する理解を深める取り組みを実施した。また、バーベキュー大会においてご家族同士で語り合う機会を創出し、ピアサポートの場として活用していただいた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1人	3人	6人		10人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1人	9人			10人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2人	8人			10人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1人	8人	1人		10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域やご家族に働き掛けを行うことで、ともに利用者様を支えるということが実践できた。</li> <li>日常の記録について様式を見直すことで、よりケアの質を高める取り組みを実行した。</li> <li>理由として、事業所の事業計画において、事業所は地域とともに成長する事が重要であることを掲げ、事業所の内外において様々な可能性を検討しながら運営を行ったからである。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域によっては地域資源を見出すことが難しく、インフォーマルな支援に結び付けることができないことがあった。</li> <li>その理由として、実際の地域の実情から、高齢者世帯や独居世帯が占める割合が多い地域においては働きかけを行う対象の方を見つけること自体に困難さを感じるためである。また、地域の中で小規模多機能ホームのサービスについての認識が浸透していないことも理由の一つと考える。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実情について、アウトリーチでもって把握に努め、その過程において地域の方たちとの交流を大切に、事業所が担うことができる新たな可能性について検討することとする。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年1月7日 (13:30~14:00)

6. 連携・協働

メンバー 古川・榎内・濱田・北之園・東別府  
東・松元・牧原・山下・林田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	3人	1人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>サービス担当者会議への出席は継続して各職員が交互に行う。</li><li>地域における会議やイベントについては、それに赴くことができる関係性を構築、維持するとともに、各職員にその機会が行き渡るように体制を整える。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>地域のお茶飲み会については、様々な職員が顔を出して、例えば新規入職、異動配属された職員が自己紹介を兼ねて参加させていただくなど、参画することができた。</li><li>その礎となる関係性については、地域の役員として、あるいは消防団の団員として、相互信頼関係をより深めることができた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等) の他事業所) との会議を行っていますか?	3人	5人	1人	1人	10人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1人	3人		6人	10人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1人	3人		6人	10人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		5人	3人	2人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>地域の活動 (お茶飲み会、地域役員会、地域社会福祉協議会) に積極的に参加し、また、毎年恒例の高千穂神社夏越祭りにおいては子ども神輿を事業所に招き入れることができ、地域の皆様と利用者様の交流が図られた。</li><li>理由として、常日頃より地域との連携、協働を心掛け、それに、多様な職員が参加できるように実践しているからである。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>夏祭りについては、日程が調整できずに開催できなかった。</li><li>地域における徘徊模擬訓練について開催を検討しているが、実行に至っていない。</li><li>理由として、地域の方たちとの関係性は年々良い意味で変化しており、また、地域の実情についても変化がある。その中で、地域のニーズと事業所の考えがうまくかみ合わなくなってしまうリスクを抱えているからである。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>地域の皆様との強固な関係性は実現できている。今後は、事業所に求められることを把握し、その他のサービス機関の機能も考慮して、新たな催し物について検討し、実行することとする。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年1月7日 (13:30~14:00)

7. 運営

メンバー 古川・榎内・濱田・北之園・東別府  
東・松元・牧原・山下・林田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人			10人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・職員の意見が、より即時的に運営の改善に寄与するものできるように体制を構築する。</li><li>・地域の方たちとより深く関わり、相互信頼関係にもとづいた意見の言い易い環境作りについて、実行する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・職員の意見を事業所の運営に反映できる体制作りについて進めている。</li><li>・利用者様やご家族の意見については、日頃のコミュニケーションや連絡帳の活用、アンケートなどを通じて、運営に反映できるように努めている。</li><li>・地域の方たちの声は、運営推進会議での意見聴取や、地域の会合に参加することで、運営に反映できるように実践している。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	2人	6人	2人		10人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	9人			10人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	7人	2人		10人
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1人	4人	4人	1人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員の意見を運営に繋げるため、体制作りを進めた。</li><li>・利用者様やご家族の意見、地域の方たちの意見をすぐに運営に繋げるために取り組むことができた。</li><li>・理由として、週に1回の職員ショートミーティングを導入したり、連絡帳の様式を改訂してご家族に意見を述べていただき易いものとしたり、地域の方たちとの会合においては写真資料を添付しての事業所活動報告を開始したりしているからである。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の方たちとの活動は受け身であることが多く、事業所が主体となる活動は多くない。</li><li>・理由として、地域のニーズと事業所の意向のマッチングについて未だ擦り合わせを行っている段階のためである。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員、利用者様、ご家族様、そして地域の方たちからの意見を運営に反映する体制については、現在の形を維持し、さらにその質を改善していく。例えば、地域の方たちが事業所に求める役割について意見を伺う機会を設け、それが実現可能か検討する。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年1月7日(13:30~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 古川・榎内・濱田・北之園・東別府  
東・松元・牧原・山下・林田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	3人	1人	10人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>研修等で得た知見を実際のケアや業務において生かすことができる環境を作り出すことで、その参加意欲を高める。</li><li>地域連絡会(町内会協議会やキャラバンメイト連絡会など)における情報を職員間で共有できる環境を整える。</li><li>リスクマネジメントの質を高めて、利用者様の安心と安全に繋げる。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>リスクマネジメントセミナーを含む各研修の内容については、それが実際のケアや運営、環境整備等に反映できるように職員間での周知を行っている。</li><li>地域との関わりの場面には、多くの職員が出向く体制を整えて、地域の方たちの声を実際に聞き、運営に繋げていくことができるように実践している。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2人	6人		2人	10人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2人	1人	4人	3人	10人
③	地域連絡会に参加していますか	1人	2人	1人	6人	10人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		7人	3人		10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>リスクマネジメント(事故の防止等)について、記録様式を改訂するなどして取り組みが行えている。</li><li>新たにキャラバンメイトの資格を取得、また、スキルアップとして、介護福祉士取得に挑戦する職員が3名おり、その取り組みを事業所としてバックアップしている。</li><li>理由として、事業所や法人には明確にキャリアアップの重要性を説く仕組みがあり、常に介護や運営、地域との連携の質を高めることが必要であるとの共通認識があるからである。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>研修には、経験年数や保有資格を考慮して職員を派遣しているが、一部に偏りが生じている。</li><li>理由として、スケジュール調整の難しさを感じているが、事前に各職員が思う将来像についての把握が十分ではない点が挙げられる。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>年間研修計画の作成とそれに基づいた研修参加を継続する。</li><li>職員毎、キャリアや保有資格、自分自身で思い描く将来像を整理して、必要な研修を必要な時期に受講できる体制を整えて、日常のケアや運営の質の向上に繋げるものとする。</li></ul>



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年1月7日 (13:30~14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 古川・榎内・濱田・北之園・東別府  
東・松元・牧原・山下・林田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人			10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修参加とその内容の周知、あるいはパンフレット等の活用によって、成年後見制度をはじめとする「生活がしづらい方たちに対する各種支援」にはどのようなものがあるか学ぶ機会を設ける。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月身体拘束廃止委員会を開催し、状況を確認している。身体拘束の必要がある利用者様は存在しない。</li> <li>プライバシーの保護や個人情報の管理については研修で学び、その意識を高める取り組みを行っている。</li> <li>成年後見制度を活用する利用者様について、支援を行っている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6人	4人			10人
②	虐待は行われていない	6人	4人			10人
③	プライバシーが守られている	4人	6人			10人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3人	5人	2人		10人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2人	8人			10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月、身体拘束廃止委員会を開催し、新たに身体拘束を行う必要が生じていないか確認するとともに、特にスピーチロックとなり得る言葉についての意見交換を行うなどして、意識向上に努めている。</li> <li>登録者様の内、新たに成年後見制度を活用し始めた利用者様がいらっしゃるが、関係各機関と連携を行いながら、支援を継続している。</li> <li>理由として、常に研修や意見交換にて権利擁護についての意識向上を実践しているからである。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチロック等についての意識づけは常に向上していく必要があり、その学びは今後も必要である。</li> <li>理由として、例えば認知症の方の言動に対応の困難さを感じる場面があり、介護技術の向上と合わせて、適切な言葉かけ、プライバシー保護の視点等についてまだまだ勉強が必要と感ずることがあるためである。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>権利擁護の研修について積極的に参加し、さらに学びを深める。また、身体拘束廃止委員会を継続して毎月開催し、スピーチロックのリスクを排除していくなどの取り組みを、職員全員で行う。</li> </ul>	

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	5		3
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	5		3
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	5		3
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4		4

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？  【前回の改善計画】 ・花海家長寿園として、オープンで地域の皆様に足を運んでいただきやすい環境を整えて、地域との交流スペース（多目的ホール）を活かした行事を含む、地域の皆様を招き入れる催しを年に2回以上開催することとする。	7	1	
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6	1	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6		2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5		3
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	3		5

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	1	2
	<b>【前回の改善計画】</b> ・地域行事の予定については、事業所の月間予定表に記入し、職員皆で把握できるようにして、地域包括ケア推進サポートワーカー、管理者、ケアマネジャーを中心としながらも職員1人1人、年間1回以上交流の場面に参加できるようにすること。			
1	職員はあいさつできていますか？	8		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	7	1	
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5	2	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	2	

D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	1	4
	<b>【前回の改善計画】</b> ・地域の皆様に向けた情報発信を行うことで、事業所の利用者様にとって“より良い暮らし”が実現できる地域を目指す。具体的には、地域の皆様を対象とした”認知症の方への対応講座“(認知症サポーター養成講座)を、年1回以上、事業所主体で開催することとする。			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	1	6	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4	2	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	1	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3	2	3

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・花海家長寿園における活動の報告として、委員の皆様にとってより分かりやすい資料を準備する。具体的には紙面に写真を挿入するなどして活動内容や事業所の今後の予定等をお知らせし、忌憚のない意見を頂戴して運営の改善に繋げることとする。	8		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	8		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3	2	3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6	1	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	7		1

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 ・平成 30 年度に引き続いて地域の防災訓練に参加し、地域の方たちとの連携体制について整えていく。また、事業所の避難訓練の予定について事前にお知らせするとともに、日頃からオープンな事業所として地域の皆様を受け入れることで、非常時に対応していただきやすい環境を整えることとする。	8		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	1	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	7		1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	3	5	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5	3	

以上で終了です。ありがとうございました。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5		3
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	5		3
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	5		3
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4		4

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・「職員の皆さんで取り組んだという資料を見せてもらいました。」
- ・「中身（事業所自己評価の内容）は、難しいことが書いてあるなあ。」

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・「自己評価と言っても、難しいですね。」
- ・「でも、わたしたちもこれ（事業所自己評価）を見させてもらって、普段からどういふことをされているんだな、ということが分かりますよ。」

【改善計画】※後日記入

- ・花海家長寿園が地域で果たすべき役割について、職員全員が共有できるように、勉強会や意見交換について充実を図る。
- ・事業所の自己評価として、客観的な視点を養うために法人内他事業所へ研修に赴く機会を作る。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7	1	
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6	1	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6		2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5		3
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	3		5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・「オレンジカフェは、地域の人たちと関わるができる良い機会だと思います。」

【前回の改善計画】

・花海家長寿園として、オープンで地域の皆様に足を運んでいただきやすい環境を整えて、地域との交流スペース（多目的ホール）を活かした行事を含む、地域の皆様を招き入れる催しを年に2回以上開催することとする。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

・「コスモスも本当にきれいで、それを見るためにここに来る価値がありますよね。」

【今回の改善計画】※後日記入

・多目的ホールでの催し物の開催や、“よいやんせはなみち”（畑、菜園）について、地域の皆様に足を運んでいただくための広報活動を行い、皆様からの意見をもとにさらなる環境整備を実行する。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	1	2
1	職員はあいさつできていますか？	8		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	7	1	
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5	2	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	2	

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・「みんな花海家さんがあって、良かったって言っているよ。」

【前回の改善計画】

- ・地域行事の予定については、事業所の月間予定表に記入し、職員皆で把握できるようにして、地域包括ケア推進サポートワーカー、管理者、ケアマネジャーを中心としながらも職員1人1人、年間1回以上交流の場面に参加できるようにすること。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・「交流の機会も増えてきているし、最近は花岡町内会の方にも顔を出してくれるから、良いと思います。」
- ・「わたしも花岡の人間として、今までは（事業所と）鶴羽の関係を聞いているばかりでしたが、その輪の中に入ることができて嬉しく思います。」

【改善計画】※後日記入

- ・鶴羽お茶のみ会や季節の行事には、利用者の方と一緒に参加して、お互いに顔の見える関係性をさらに強固なものとする。
- ・年間2回以上、地域の方たちをお招きする行事を開催する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	1	4
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	1	6	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4	2	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	1	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3	2	3

<p><b>【上記5つのチェック項目に関する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やっぱりさ、地域の行事に（職員が）来てくれると顔もわかるから良いよね。」</li> <li>・「この前の（鶴羽の）サロンには、利用者の方、来てくれていたよね。鏡開きにも誘ったのだけど、その時は少し体調が良くないと言って“お休み”てことだった。」</li> </ul>
<p><b>【前回の改善計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の皆様に向けた情報発信を行うことで、事業所の利用者様にとって“より良い暮らし”が実現できる地域を目指す。具体的には、地域の皆様を対象とした”認知症の方への対応講座（認知症サポーター養成講座）を、年1回以上、事業所主体で開催することとする。</li> </ul>
<p><b>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「花海家に来ている利用者様にも、地域の行事のことなんかをあらためて伝えてもらって、できる時は一緒に（地域の行事などに）連れて来ていただけたら良いなと思います。」</li> </ul>
<p><b>【改善計画】※後日記入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事に積極的に参加し、その中で花海家長寿園の利用者様が“地域の中で必要とされる存在”と認識される働きかけを行う。</li> <li>・具体的には、地域の皆様を対象とした”認知症の方への対応講座（認知症サポーター養成講座）を、年1回以上、事業所主体で開催することとする。</li> </ul>



E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	8		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3	2	3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6	1	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	7		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・「資料はわかりやすいから、良いと思います。」
- ・「(花海家新聞があると) 普段の様子が分かるから良いですね。ご家族にも配っているんですよね、すごく良いと思います。」

【前回の改善計画】

- ・花海家長寿園における活動の報告として、委員の皆様にとってより分かりやすい資料を準備する。具体的には紙面に写真を挿入するなどして活動内容や事業所の今後の予定等をお知らせし、忌憚のない意見を頂戴して運営の改善に繋げることとする。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・「ここ(多目的ホール)は眺めも良いから、この会議で集まれる機会はとても良いと思いますよ。」

【改善計画】※後日記入

- ・写真資料を用いての報告を継続して、事業所が地域の皆様とともに目指していく方向性について共有できるように進めていく。
- ・地域の皆様にも積極的に発言、情報発信していただけるように時間を設ける。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	1	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	7		1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	3	5	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5	3	

<p><b>【上記5つのチェック項目に関する意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「前回（令和1年6月）の防災訓練にも参加していただいて、いつもありがとうございます。」</li> </ul>
<p><b>【前回の改善計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に引き続いて地域の防災訓練に参加し、地域の方たちとの連携体制について整えていく。また、事業所の避難訓練の予定について事前にお知らせするとともに、日頃からオープンな事業所として地域の皆様を受け入れることで、非常時に対応していただきやすい環境を整えることとする。</li> </ul>
<p><b>【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「3月に建物火災を想定した訓練を実施します。鹿屋市消防団8地区による訓練です。今回、ここ（花海家長寿園とプライエボーリ優花里）をお借りして、訓練をさせていただくことになりました。皆様のご協力に感謝します。」</li> <li>・「また、その際にはお二人には消防団員として参加していただくようお願いします。」</li> </ul> <p>※花岡消防団団長様より。          ※令和元年5月より、プライエボーリ優花里：上船、花海家長寿園：古川          花岡消防団団員として活動している。</p>
<p><b>【改善計画】※後日記入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災訓練に参加して、防災意識と避難手順について地域の皆様とイメージを共有する。</li> <li>・消防組合や地域の消防団と連携して事業所の防災訓練を実施する。その際は、地域の皆様にもお声がけを行う。</li> </ul>

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 恵仁会	代表者	理事長 池田志保子	法人・ 事業所 の特徴	小規模多機能ホーム花海家長寿園は、登録者（利用者）の皆様が安心してご自宅での暮らしを継続できるように、ご本人、ご家族、地域の皆様と知恵を出し合いながら、事業所としての成長を目指し、運営しています。 また、隣接するプライエボーリ優花里をはじめとする社会福祉法人恵仁会の各事業所、池田病院グループ各機関との連携により、地域の皆様の“より良い暮らし”を、今後も支援して参ります。
事業所名	小規模多機能ホーム 花海家長寿園	管理者	古川和憲		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	7人	人	2人	人	1人	2人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花海家長寿園が、地域の皆様にとってもっと身近で、交流が行いやすい事業所となるために、地域の皆様に対して情報を発信する機会を作り、また、積極的にホームのご見学を受け入れることとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和1年5月19日、多目的ホールにて、バーベキュー大会を開催する。地域の皆様に花海家長寿園のことを知っていただく機会を設ける。</li> <li>・ 各職員が、地域交流の場面や、あるいは普段の意見交換の場（ショートミーティング）において、“自分たちの事業所”として、花海家長寿園のことを考える機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「職員の皆さんで取り組んだという資料を見せてもらいました。」</li> <li>・ 「中身（事業所自己評価の内容）は、難しいことが書いてあるなあ。」</li> <li>・ 「自己評価と言っても、難しいですよ。」</li> <li>・ 「でも、わたしたちもこれ（事業所自己評価）を見させてもらって、普段からどういうことをされているんだな、ということが分かりますよ。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花海家長寿園が地域で果たすべき役割について、職員全員が共有できるように、勉強会や意見交換について充実を図る。</li> <li>・ 事業所の自己評価として、客観的な視点を養うために法人内他事業所へ研修に赴く機会を作る。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花海家長寿園として、オープンで地域の皆様に足を運んでいただきやすい環境を整えて、地域との交流スペース（多目的ホール）を活かした行事を含む、地域の皆様に招き入れる催しを年に2回以上開催することとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の皆様との交流の機会として、概ね月に1回オレンジカフェを開催した。</li> <li>・ 本年度より、運営推進会議の会場を多目的ホールに変更した。会議後に、委員の方と利用者の方がふれあう機会がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「オレンジカフェは、地域の人たちと関わることができる良い機会だと思います。」</li> <li>・ 「コスモスも本当にきれいで、それを見るためにここに来る価値がありますよね。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多目的ホールでの催し物の開催や、“よいやんせはなみち”（畑、菜園）について、地域の皆様に足を運んでいただくための広報活動を行い、皆様からの意見をもとにさらなる環境整備を実行する。</li> </ul>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事の予定については、事業所の月間予定表に記入し、職員皆で把握できるようにして、地域包括ケア推進サポートワーカー、管理者、ケアマネジャーを中心としながらも職員1人1人、年間1回以上交流の場面に参加できるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規入職の職員など、まず登竜門的に鶴羽お茶のみ会に参加し、地域の方との交流を実践している。</li> <li>職員全員に地域行事に出向く機会を設けることについては実行できなかった。</li> <li>特に鶴羽の利用者様のご家族には、サービス提供以外の場面においても、お互いに声を掛け合うような関係性が構築できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みんな花海家さんがあって、良かったって言っているよ。」</li> <li>「交流の機会も増えてきているし、最近は花岡町内会の方にも顔を出してくれるから、良いと思います。」</li> <li>「わたしも花岡の人間として、今までは（事業所と）鶴羽の関係を聞いているばかりでしたが、その輪の中に入ることができて嬉しく思います。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴羽お茶のみ会や季節の行事には、利用者の方と一緒に参加して、お互いに顔の見える関係性をさらに強固なものとする。</li> <li>年間2回以上、地域の方たちをお招きする行事を開催する。</li> </ul>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の皆様に向けた情報発信を行うことで、事業所の利用者様にとって“より良い暮らし”が実現できる地域を目指す。具体的には、地域の皆様に対象とした”認知症の方への対応講座（認知症サポーター養成講座）を、年1回以上、事業所主体で開催することとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>隔月のオレンジドライブにて、買い物支援や、あるいは、観光スポット巡りを行い、地域の交通困難者の方たちの支援を実行した。</li> <li>花岡学園中学生を対象とした認知症サポーター養成講座を開催した。</li> <li>高千穂神社夏祭りの際は、養成講座にて知り合った生徒の方との再会の機会となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「やっぱりさ、地域の行事に（職員が）来てくれると顔もわかるから良いよね。」</li> <li>「この前の（鶴羽の）サロンには、利用者の方、来てくれていたよね。鏡開きにも誘ったのだけど、その時は少し体調が良くないって言って“お休み”てことだった。」</li> <li>「花海家に来ている利用者様にも、地域の行事のことなんかをあらためて伝えてもらって、できる時は一緒に（地域の行事などに）連れて来ていただけたら良いなと思います。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の行事に積極的に参加し、その中で花海家長寿園の利用者様が“地域の中で必要とされる存在”と認識される働きかけを行う。</li> <li>具体的には、地域の皆様に対象とした”認知症の方への対応講座（認知症サポーター養成講座）を、年1回以上、事業所主体で開催することとする。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花海家長寿園における活動の報告として、委員の皆様にとってより分かりやすい資料を準備する。具体的には紙面に写真を挿入するなどして活動内容や事業所の今後の予定等をお知らせし、忌憚のない意見を頂戴して運営の改善に繋げることとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議における報告の際に、写真満載の“花海家新聞”を活用することで、委員の皆様から活動内容が分かりやすいという評価をいただいた。</li> <li>オレンジカフェとオレンジドライブの在り方についてなど、忌憚のない意見を聴取できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「資料はわかりやすいから、良いと思います。」</li> <li>「（花海家新聞があると）普段の様子が分かるから良いですね。ご家族にも配っているんですよ、すごく良いと思います。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真資料を用いての報告を継続して、事業所が地域の皆様とともに目指していく方向性について共有できるように進めていく。</li> <li>地域の皆様にも積極的に発言、情報発信していただけるように時間を設ける。</li> </ul>

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み (続き)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議後に、委員の方が地域の利用者様を尋ねてお声がけして下さるなど、利用者様にとっても良い機会となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ここ（多目的ホール）は眺めも良いから、この会議で集まれる機会はとても良いと思いますよ。」</li> </ul>	
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年度に引き続いて地域の防災訓練に参加し、地域の方たちとの連携体制について整えていく。また、事業所の避難訓練の予定について事前にお知らせするとともに、日頃からオープンな事業所として地域の皆様を受け入れることで、非常時に対応していただきやすい環境を整えることとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の避難訓練の際は、町内会長様宛事前に通知を行った。また、地域の防災訓練では、利用者の方を含めて地域に住まう要援助者の方の避難について、イメージの共有を図ることができた。</li> <li>事業所の職員が、地域の消防団として活動することで、日常、そして非常時にご協力いただける体制作りを実行できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「前回（令和 1 年 6 月）の防災訓練にも参加していただき、いつもありがとうございます。」</li> <li>「3 月に建物火災を想定した訓練を実施します。鹿屋市消防団 8 地区による訓練です。今回、ここ（花海家長寿園とプライエボーリ優花里）をお借りして、訓練をさせていただくことになりました。皆様のご協力に感謝します。」</li> <li>「また、その際にはお二人には消防団員として参加していただくようお願いいたします。」</li> </ul> <p>※花岡消防団団長様より。  ※令和元年 5 月より、  プライエボーリ優花里：  上船、花海家長寿園：古川  花岡消防団団員として活動している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の防災訓練に参加して、防災意識と避難手順について地域の皆様とイメージを共有する。</li> <li>消防組合や地域の消防団と連携して事業所の防災訓練を実施する。その際は、地域の皆様にもお声がけを行う。</li> </ul>

